32 ■雄大な自然の中でイヌワシが舞う

銀山平（北魚・湯之谷村）

■環　境：山地　湖沼
■対　象：一般
■期　間：5月中旬～10月上旬

秘境奥只見の広大な自然の中で越後駒ケ岳と荒沢岳に抱かれた北の又川と中荒沢の一帯が銀山平で、そこはワシ・タカをはじめとする野鳥の宝庫である。

＜ワシ・タカは残雪期が見やすい＞

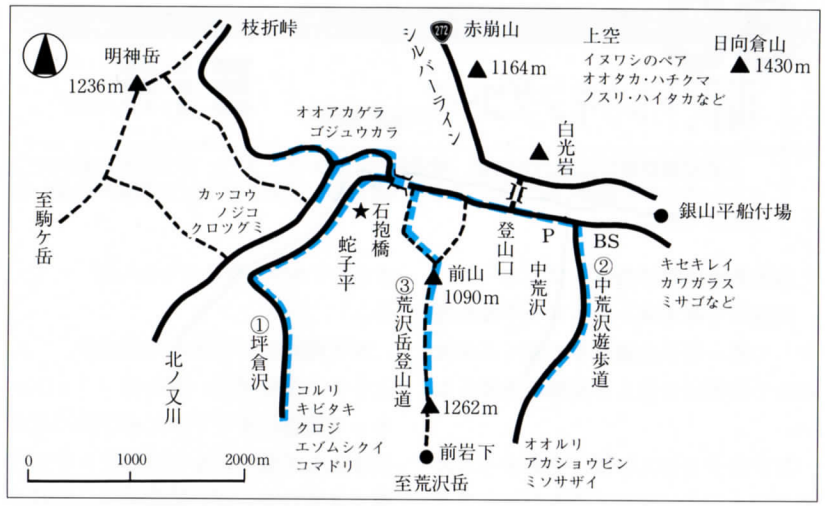
シルバーラインは3月下旬に開通する（年によって多少遅くなる）。銀山平はまだ深い雪である。スコープで山の斜面を探すとあちこちにのんびり木の枝を食べる**カモシカ**の姿を見ることができる。**ワシ**や**タカ**は、まず双眼鏡で青い空と白銀のりょう線を視野に入れて、360度、繰り返し探す。帆翔する**ワシ**や**タカ**の姿をみつけたらスコープで追う。残雪の反射で翼や尾の下面がくっきり見える。奥只見には**イヌワシ**、**クマタカ**、**オオタカ**、**ハチクマ**、**トビ**、**ノスリ**、**ハイタカ**、**ツミ**、**サシバ**などが生息するほか、冬は**オジロワシ**が飛来する。

ワシや**タカ**は上昇気流の生ずる9時ごろから11時ごろよく飛ぶ。それを待つ間の早朝の探鳥コースは3コースある。

①石抱橋から北の又川右岸の坪倉沢へ行くコース。ここは河岸段丘が広く、明るく開けた二次林で、**クロツグミ**、**カッコウ**、**ノジコ**、**ホオジロ**などが生息し、河畔林の**ミズナラ**や**ブナ**の巨木に**ゴジュウカラ**や**オオアカゲラ**がくる。

②銀山平駐車場から中荒沢をさかのぼるコース。駐車場付近の**ヤナギ**の木に**ニュウナイスズメ**が鳴く姿を見たあと、中荒沢の林道を進むと**オオルリ**に続いて**アカショウビン**の声を聞くことができる。ただし**アカショウビン**の声を聞くには5月下旬以降となるし、雪の多い時は沢の奥へ入らない方がよい。渓流では**カワガラス**や**ミソサザイ**の声が瀬音に混じる。

早春の銀山平



③荒沢岳登山口から前山を経て前グラに至るコース。足に自信のある人は荒沢岳の登山コースを勧める。登山口は二つあるが、どちらでも大差ない。前山1090mまで1時間の登りはきついが、降り注ぐような**コルリ**の声に慰められる。前山から前グラ下1300mまでは緩やかなプロムナード気分の登り、**キビタキ**、**ゴジュウカラ**、**クロジ**の声を聞きながら行く。前グラの岩場下に着くと上方から**エゾムシクイ**、**コマドリ**がよく響く澄んだ声を疲れた身体に送ってくれる。

＜健脚組には前山コースがお勧め＞

（柳瀬昭彦）

メモ

交通　越後交通バス奥只見行き、銀山平下車。自家用車は石抱橋で駐車も可。

P　銀山平の駐車場は広い。トイレもある。石抱橋は道路わきへ駐車。

探鳥会　小出野鳥の会が6月上旬コノハズクを聞く会を催す。場所は泣沢広場。足を延ばして鷹の巣もコノハズクがよく鳴く。

道草　湖山荘のソバがうまいと評判。ただしシーズンは要予約。